

# 令和元年度 家庭教育通信 2号

令和元年12月12日発行／八千代市教育委員会生涯学習振興課

八千代市教育委員会生涯学習振興課では、小・中学生の子育てをサポート・応援するために「家庭教育通信」を発行しています。  
子育てのヒントや情報・家庭教育講演会のお知らせなど、家庭教育に関するお役立ち情報をお届けします。



家庭教育に  
簡単アクセス！

## 第2回家庭教育講演会「思春期の子どもたちの発達の理解とかかわり方」をテーマに開催 ロールプレイ・ワークショップで 思春期の子どもの“感情の育ち”を考え、具体的な関わり方を学びました。

今年度の2回目の家庭教育講演会は、11月1日(金)に総合生涯学習プラザ多目的ホールにおいて、法政大学文学部心理学科教授 渡辺弥生氏を講師にお迎えして、思春期の子(小学4年生～中学生)を持つ保護者と家庭教育に関心のある方を対象に開催しました。

“思春期の子どもたちの発達心理を知れば目から鱗！”と先生のメッセージのとおり、ロールプレイで子どもの気持ちを体感したり、ワークショップでは、リフレーミングレッスンやレジリエンス筋肉を鍛えようなど、参加型の手法で和やかな雰囲気の中、楽しく、この年齢の子どもたちの特徴を考えることができました。共感すること、応答すること、性格のせいにしないこと、思春期の良いところは葛藤するところであり健康な発達であるなど学びがたくさんありました。

「もっと深く子どもの心理を理解して寄り添っていきたいと思った。」「自分自身を見つめなおすきっかけになった。」との感想のように、さっそく、実践につながる講演会になりました。

### ◆リフレーミングレッスン◆

リフレーミングとは、ある出来事や物事を、今の見方とは違った見方をする事で、それらの意味を変化させて気分や感情を変えることです。

今回の講演会において、人は何事も悪く考えてしまうので、リフレーミングを使うことで見方を変えることを学びました。

一例として、無口な → 穏やかな

あきっぽい → 好奇心が強い 興味が広い

優柔不断 → 慎重

子どもの悪いところと思っていたことが、実はいいところと考えるとわが子への接し方が変わりますね。

ご家庭でもぜひ考えてみましょう！



### 家庭で育てる学力 ～外国語活動に親しむ家庭環境を～



小学校では低学年から英語に親しむ時間が設けられ、子ども達はALTの先生方から様々なことを教わり、外国語活動を楽しむ時間を重ねることで、少しずつ意思の疎通ができるようになってきます。

家庭で、「今日はどんなことをやったの?」「ALTの先生が住んでいる国って日本からどれくらい遠いのかしら」など、関心をもって話題にしてみましょう。また、「ペットボトル」という言葉は英語だと思っている人が多いと思いますが、実は海外では通用しない言葉(“和製英語”と呼ばれる言葉)について調べたり、逆に、「おりがみ」のように日本語のまま外国で通じるような言葉を探してまとめたりする事も、英語に興味を持つきっかけになるのではないのでしょうか。

中学校では、今まで以上に「聞く・話す力」が必要とされるようになります。

IT機器やメディアなどを活用し、ネイティブの発音を数多く聞いて耳を慣らし、簡単なフレーズなど会話の中で実際に使ってみるのはいかがでしょうか。

お気に入りの映画を英語版で聞いて、好きなセリフを真似たり、映画のストーリーがわかるかどうかチャレンジしてみたり、お気に入りの曲などを英語バージョンで流して口ずさんだりする事も、お子さんにとって楽しくかつ効果のある“学習法”ではないのでしょうか。

駅のホームや車内の電光掲示板・身近な施設や名所旧跡の看板にある説明文など、数か国語で書かれているものを見つけて読んでみると、会話などに使えるフレーズなどのヒントがたくさん見つかりそうですね。

